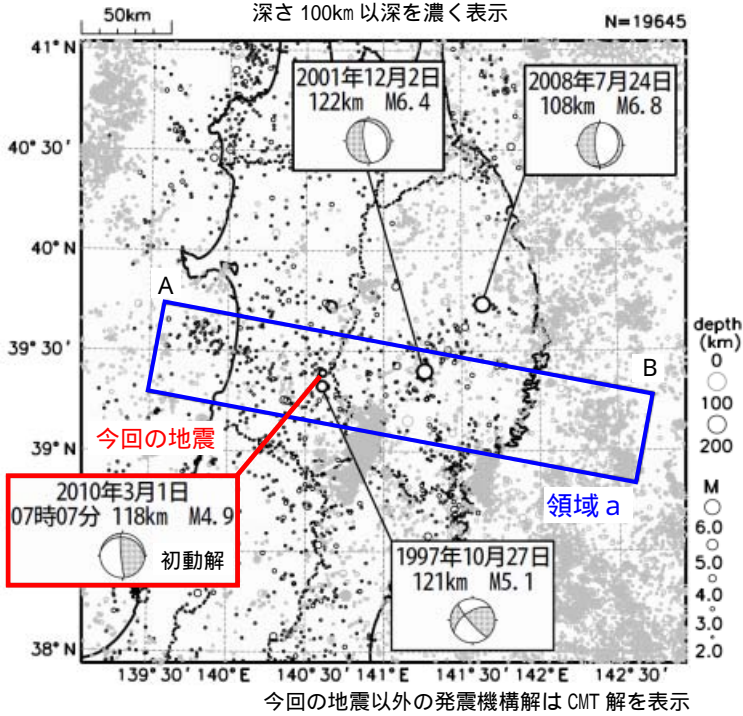


3月1日 秋田県内陸南部の地震

気象庁はこの地震に対して〔岩手県内陸南部〕で情報発表した

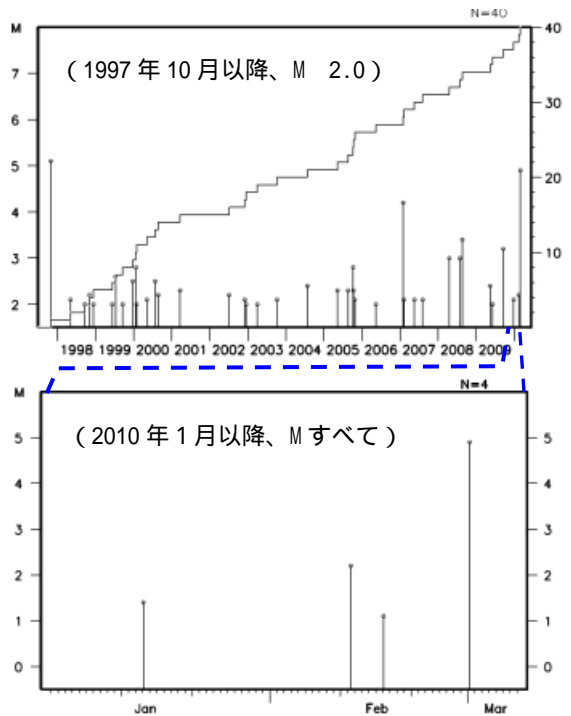
震央分布図（1997年10月1日～2010年3月7日、
深さ0～200km、M 2.0）
深さ100km以深を濃く表示



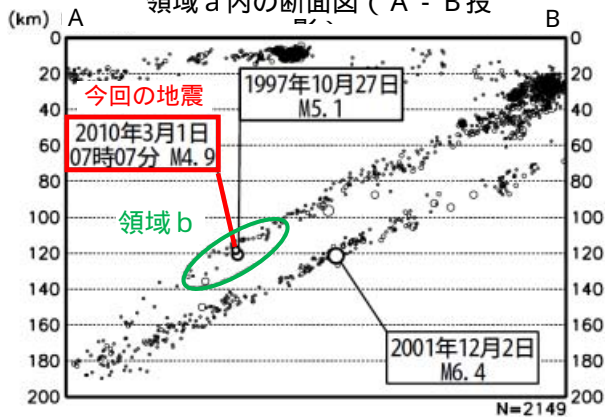
2010年3月1日07時07分に秋田県内陸南部の深さ118kmでM4.9の地震(最大震度3)が発生した。この地震は、太平洋プレート内部(二重地震面の上面)で発生した地震である。発震機構は東北東-西南西方向に圧力軸を持つ型であった。余震活動は観測されていない。

1997年10月以降の地震活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b内)では、1997年10月27日にM5.1の地震(最大震度3)が発生している。

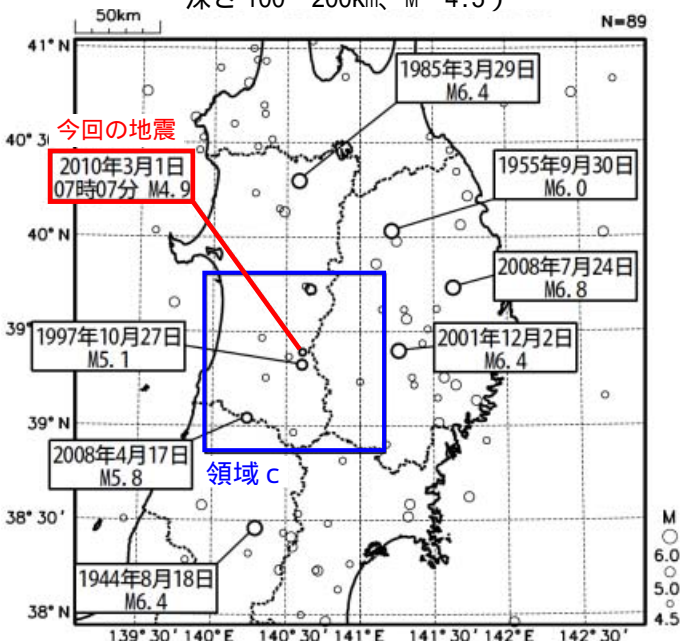
領域b内の地震活動経過図・回数積算図



領域a内の断面図 (A - B 投)

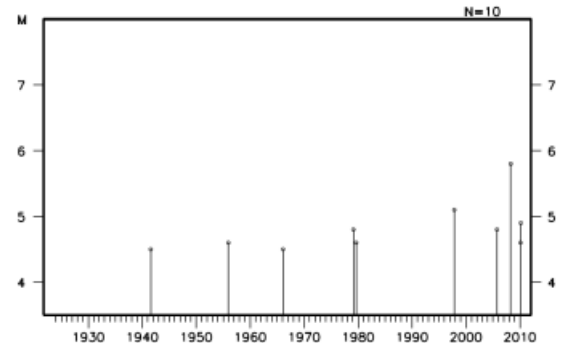


震央分布図 (1923年8月1日～2010年3月7日
深さ100～200km、M 4.5)



1923年8月以降の地震活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c内、深さ100～200km)では、M5程度以上の地震が時々発生しており、最大は2008年4月17日のM5.8の地震(最大震度4)である。この地震は二重地震面の下面で発生した地震であった。

領域c内の地震活動経過図

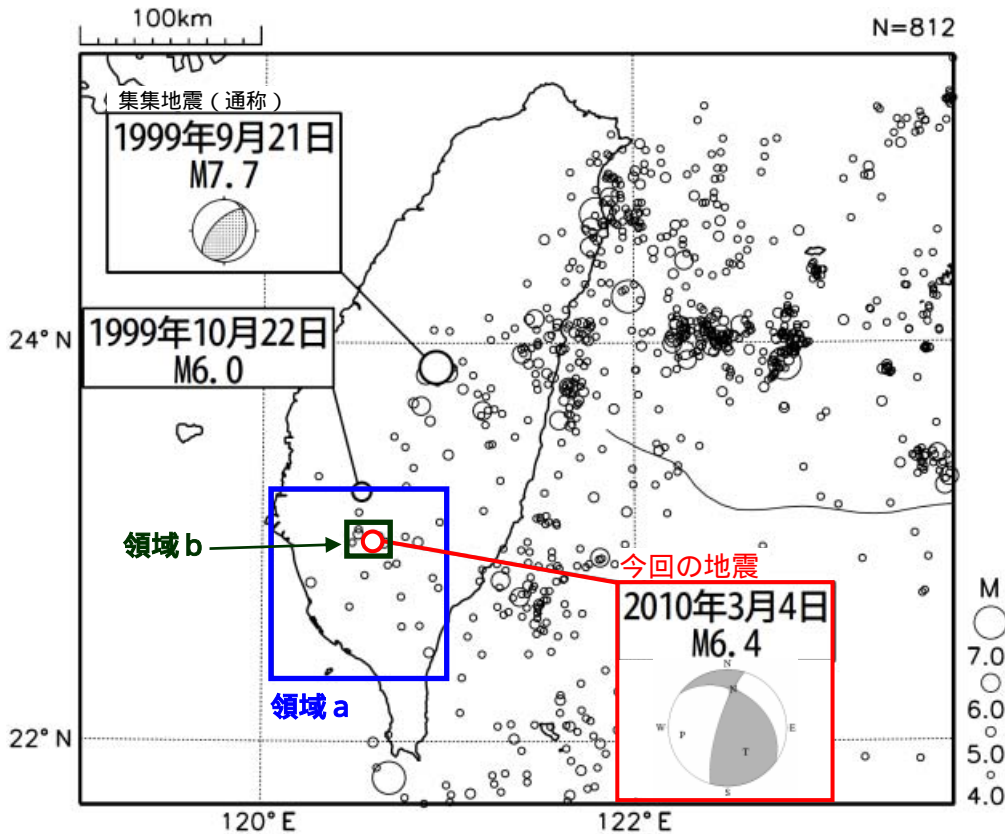


3月4日 台湾付近の地震

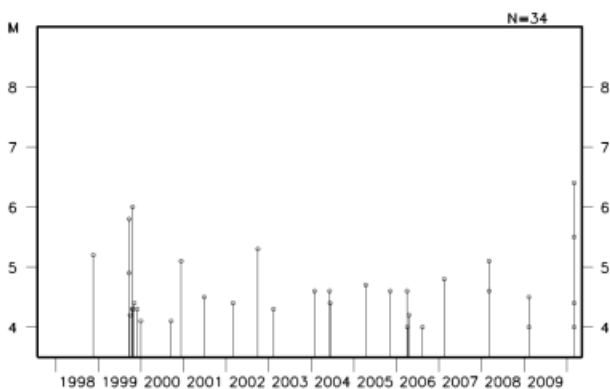
2010年3月4日9時18分（日本時間）に台湾のごく浅い場所でM6.4の地震が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。現地では負傷者数十人などの被害が生じている（3月4日現在、報道による）。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域a）では、M5.0以上の地震がしばしば発生しているが、M6.0を超える地震は今回の地震まで発生していない。

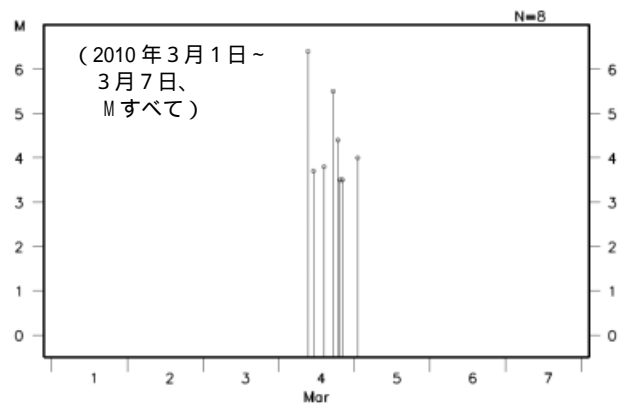
震央分布図（1997年10月1日～2010年3月6日、深さ0～80km、M 4.0）
発震機構は全てCMT解である。



領域a内の地震活動経過図



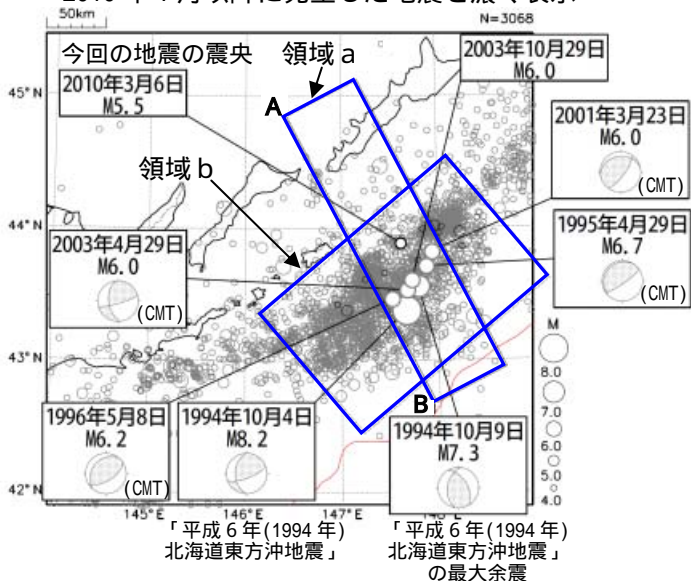
領域b内の地震活動経過図



3月6日 北海道東方沖の地震

震央分布図

(1994年10月1日以降、深さ150km以浅、M 4.0)
2010年1月以降に発生した地震を濃く表示

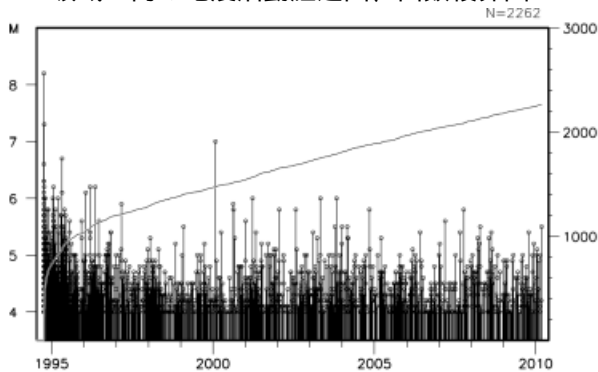


2010年3月6日22時31分に北海道東方沖の深さ6kmでM5.5の地震(最大震度3)が発生した。

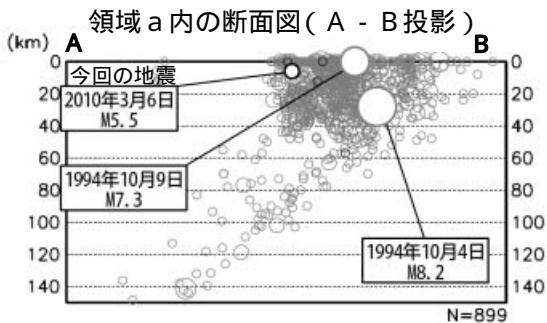
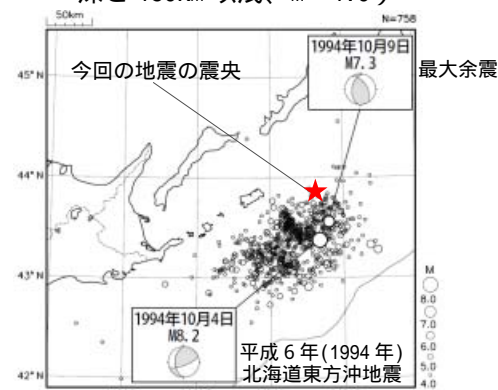
今回の地震の震源は、「平成6年(1994年)北海道東方沖地震」(M8.2、最大震度6)の余震域の北端付近に位置している。

今回の地震の震央周辺(領域c)では、「平成6年(1994年)北海道東方沖地震」(M8.2、最大震度6)の他に、1958年11月7日にM8.1の地震(最大震度5)が発生するなど、M6.0以上の地震が度々発生している。

領域b内の地震活動経過図、回数積算図

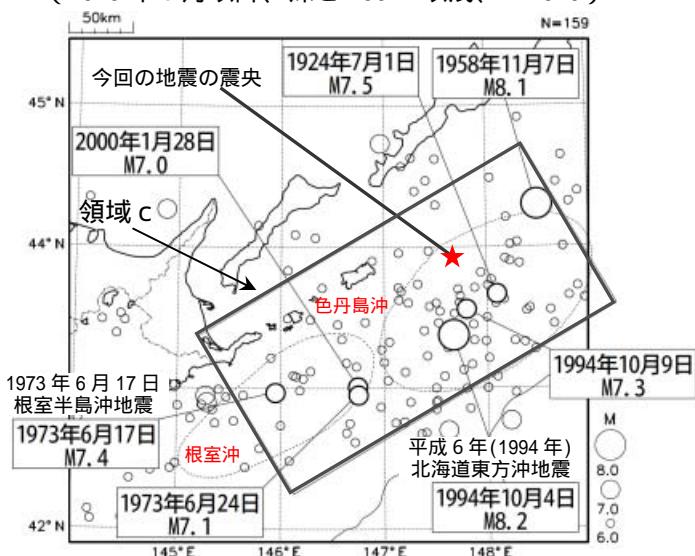


「平成6年(1994年)北海道東方沖地震」発生後2カ月間の震央分布図 (1994年10月1日~12月31日、深さ150km以浅、M 4.0)

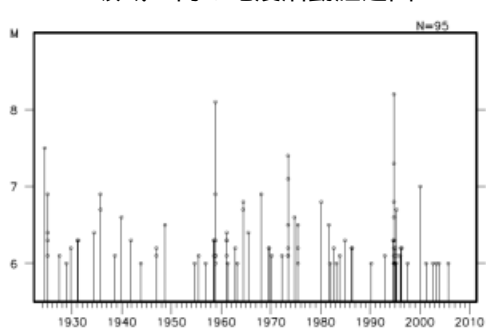


震央分布図

(1923年8月以降、深さ150km以浅、M 6.0)



領域c内の地震活動経過図



(---) 地震調査委員会による千島海溝沿いの想定震源域